



tomorrow

代表 糟谷 理恵子
事務局 春日井市石尾台3-11-5
連絡先 090-9899-4499



HP「ハナモモの会」



ブログ
「花咲か作戦」



Instagram
「ハナモモの会」



マーガレット、ビオラ、ノースポール… 元気に育て！春の花苗



11月29日午後、市から提供された花の苗を花壇に移植しました。
「元気に育て」の願いは毎年変わらないのだけど、今年はイノシシが花壇を荒らしているの、掘り返されることなく花を咲かせて欲しいと特に強く祈っています。



7月末には早くも枯れ果ててしまった矮性ヒマワリに代わって花壇を守り通してくれたサマーポインセチアを11/20 抜去。花壇の土に堆肥を足しました。



ノースポールを後ろ側、赤・青・黄のパンジー・ビオラを手前に等間隔で並べていきます。毎年同じ作業なのだけど、丁寧さで育ち方が全然違います。



今までにはなかった作業。花壇にイノシシよけを目的に防鳥ネットを被せました。冬季はこの辺りにはあまり被害はないようですが、もし掘り返されたら悲しいので。



秋の花壇は…

今年は養楽福祉会駐車場入口斜面で園芸種フジバカマ、ローゼル、綿花を栽培。どれも元気に成長し、ローゼルは味覚を楽しむこともできました。フジバカマには旅する蝶・アサギマダラの到来はなく残念！来年に期待です。綿花はローゼルの勢いに押され気味でひっそり咲いていました。

でも小さな花瓶に挿すとなかなかの存在感です。



フジバカマ



ローゼル



綿花



9月30日（月）
林明代さんの命日（10/10）に合わせて恒例の茶話会を開催しました。女性メンバーが各々ローゼルジャムを作って持ち寄り味比べ。どれも好評でした。

ローゼルを舌で愛でる

ローゼルの種の包皮（上の写真の膨らみ部分）はお料理に使えます。甘酸っぱく香り高くヘルシーな味。

- 左・お茶（お湯を入れるだけ）
- 右・梅干しもどき（塩で漬けただけ）
- 下・ジャム（砂糖で煮ただけ。煮リンゴを混ぜると更に美味！）



ああ
嗚呼

イノシシ イタチごっこ!?



9/6 花壇にイノシシ出没!?

刈り草置き場の
ブルーシートも
剥がされ荒らされ

これまでも斜面の土を掘り返し、時にはハナモモを倒していった悪童、イノシシ。9月にはついに花壇まで荒らされるようになり、慌てて対策を講じることとなりました。でも高齢者施設では電気柵はもちろん、光や音で追い払うのも迷惑になります。



木酢液をペットボトルに入れて土に埋めてみる。雨が降るまでの数日間は効果あったか? 因みに竹酢液では全く効果なし。

最初に行ったのはイノシシが嫌うという木酢液や硫黄粒を花壇に置く臭気作戦。でも臭いが弱まる雨の翌朝にはまたもや襲来。そこで次はイノシシの侵入口にネットを敷く作戦。歩きにくさに侵入を諦めてくれないかと。本紙表面で前述の通り、花壇を防鳥網で覆い、ハナモモ斜面の一部には知人から頂いたゴルフ練習場の廃品ネットを敷いてみました。効果のほどはいかに?

忌避剤として売られている硫黄の粒をぶら下げしてみる。人間にはほぼ臭いを感じられない。数を増やし試験中。



イノシシ害が著しいどんぐりの家斜面にはゴルフ練習場のお下がりのネットを敷いてみました。

【寄稿】

高蔵寺町で生まれ育った松本豊さんが伊勢湾台風の記憶を辿って手記を寄せて下さいました。死者・行方不明者が5000人を超える、明治以降の日本で最悪のこの台風をきっかけに果樹農家がサボテン栽培業に転身したり、高蔵寺ニュータウンが計画されたりと、その後の春日井市の姿に大きく影響を及ぼしました。「天災は忘れた頃にやってくる」から準備を怠らずに、ですね。

高蔵寺町では大きな被害は無かったが、伊勢湾台風の大惨事は今でも語り継がれている。

持って行った。近所では豚を飼っている人が餌にするとかで、リヤカーに積んで持って行った。庭の柿が落ちてみな無事だった。猫がいたが

浸水して縁の下の水が流れたようだった。家族は他にはヤギ、ニワトリ、猫がいたが

も恐怖心をおおった。それでも子供はぐっすり眠れるもので、朝起きたら土間にあった靴も草履も流されていた。床下

た。何時頃だったか、雨風がひどくなって、家全体がミシミシ、ガタガタして今にもつぶれるか、屋根が飛ばされるかひどく怖かった。屋根の瓦がはがれ落ちていくとき乾いた金属製の音がしたのも恐怖心をおおった。

恐ろしや 伊勢湾台風

松本 豊



この人に Spotlight



ヒシグバットさん
(もうすぐ30歳)

二年前から「にこにこ造園」で働く通称「バット」さん。モンゴル人ですが話し方も風貌も日本人と変わらず、むしろ知的で都会的な雰囲気すら感じます。首都ウランバートル市に住むご両親は警官と医師で、ご自身の話も(無意識だろうけど)秀才エピソード満載でナルホド納得。

アニメで日本に興味を持ち19歳で来日し、東京や神戸で語学や国際コミュニケーションを学んだ後、某スマホ販売店に就職。でも売上至上主義に心を病みかけて退職し、造園業を営む友人を手伝ったのがきっかけでこの世界へ。「体力的にキツイけれどやりがいのある仕事だし、将来は自分で造園会社を立ち上げたい」と夢を語ってくれました。「彼女はいる?」と尋ねると、「あまり興味がなくて。こんな若者が多いから少子化になるんだろうけど」と。もったいない!

にこにこ造園さんの草刈り(11/16)

